

観光DXの推進について

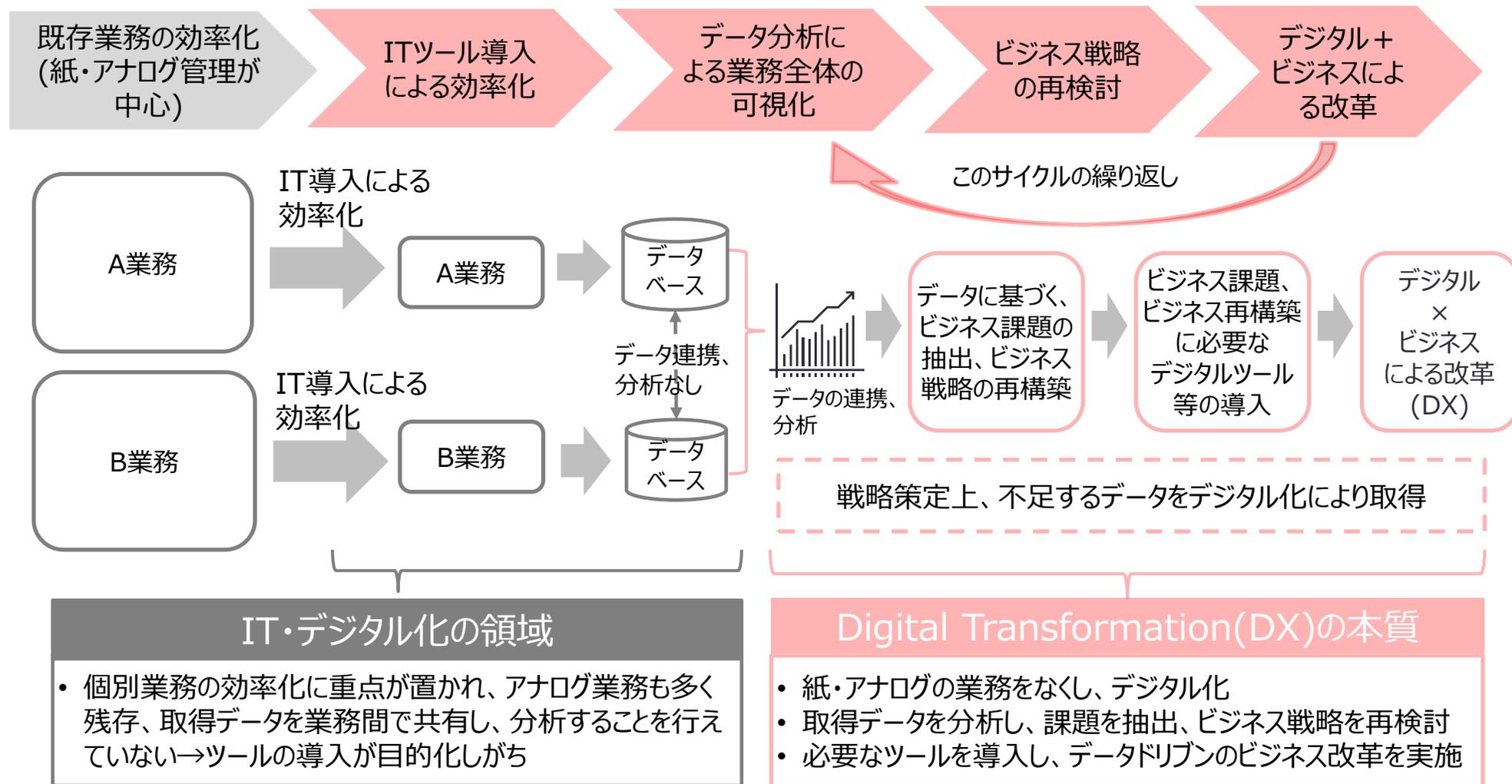
令和8年2月5日

観光庁 観光産業課 宿泊業活性化調整室

澤田 裕功

DX(Digital Transformation)とは

○DXとは、業務のデジタル化により効率化を図るだけでなく、デジタル化により収集可能となったデータの分析、利活用によりビジネス戦略を再検討し新たなビジネスモデルを創出する等、変革を図るものとの位置付け。



観光分野におけるDX推進

- **人口減少**が進む我が国において、**国内外との交流を生み出す観光**は、**地方創生の切り札**。
- 観光分野の**DXを推進**し、旅行者の**消費拡大**、**再来訪促進**、観光産業の**収益・生産性向上**等を図り、**稼ぐ地域**を創出。
- **事業者間・地域間のデータ連携の強化**により**広域で収益の最大化**を図ることで、**地域活性化・持続可能な経済社会**を実現。

旅行者の利便性向上 周遊促進

○ **ウェブサイトやOTA**等による情報発信の徹底とシームレスに宿泊、交通、体験等に係る予約・決済が可能な**地域サイト構築**による**利便性向上・消費拡大**



(出典: 京都観光Navi)

○ その時・その場所・その人に応じた**レコメンドの提供**による**周遊促進・消費拡大**

観光産業の生産性向上

○ 顧客予約管理システム (PMS) の導入徹底による**情報管理の高度化**、**経営資源の適正な配分**



(出典: 旅館陣屋)

○ PMSやOTA等で扱う**データの仕様統一化**による連携の促進

○ 地域単位での予約情報や販売価格等の共有 (API等によるデータ連携) による**レベニューマネジメントの実施**、**収益向上**

観光地経営の高度化

○ デジタル化・DXに係る方針を盛り込んだ**観光地経営の戦略策定**

○ 旅行者の移動・宿泊・購買データ等を用いた**マーケティング (CRM)** による**再来訪促進**、**消費拡大**



(出典: 気仙沼クルーカードアプリ)

○ **DMP** (データマネジメントプラットフォーム) の活用による**誘客促進**・**消費拡大**



観光デジタル人材の育成・活用

○ 観光地域づくりを牽引する人材に必要な知識・技能の修得に向けた**産学連携の抜本強化**による**リカレント教育の推進**

○ 観光地域づくり法人 (DMO) 等を中心とした地域における**観光デジタル人材の育成・活用支援** (外部の専門家派遣に加え、プロパー人材の新規採用を含めた支援策の強化等)



事業者間・地域間のデータ連携の強化により、広域で収益を最大化

⇒ **地域活性化・持続可能な経済社会**を実現



地域 (観光客一体となった観光資源・滞在環境の向上) → **観光体験の充実** → **訪問増消費増** → **旅行者**

産業 (高付加価値なサービスの提供 生産性の向上) → **収益増** → **雇用の安定 所得増** → **住民**

住民 (観光地域づくり・観光産業へ参加) → **担い手の確保** → **観光地を核として 地域活性化の好循環を創出** → **地域**

人口流出に歯止め 観光客受入への理解・協力
生活環境全般の向上 地域への愛着・誇りの醸成

観光地を核として 地域活性化の好循環を創出

高付加価値なサービスの提供 生産性の向上
宿泊業・旅行業 飲食・商工・娯楽・交通等

適切な対価收受
収入増

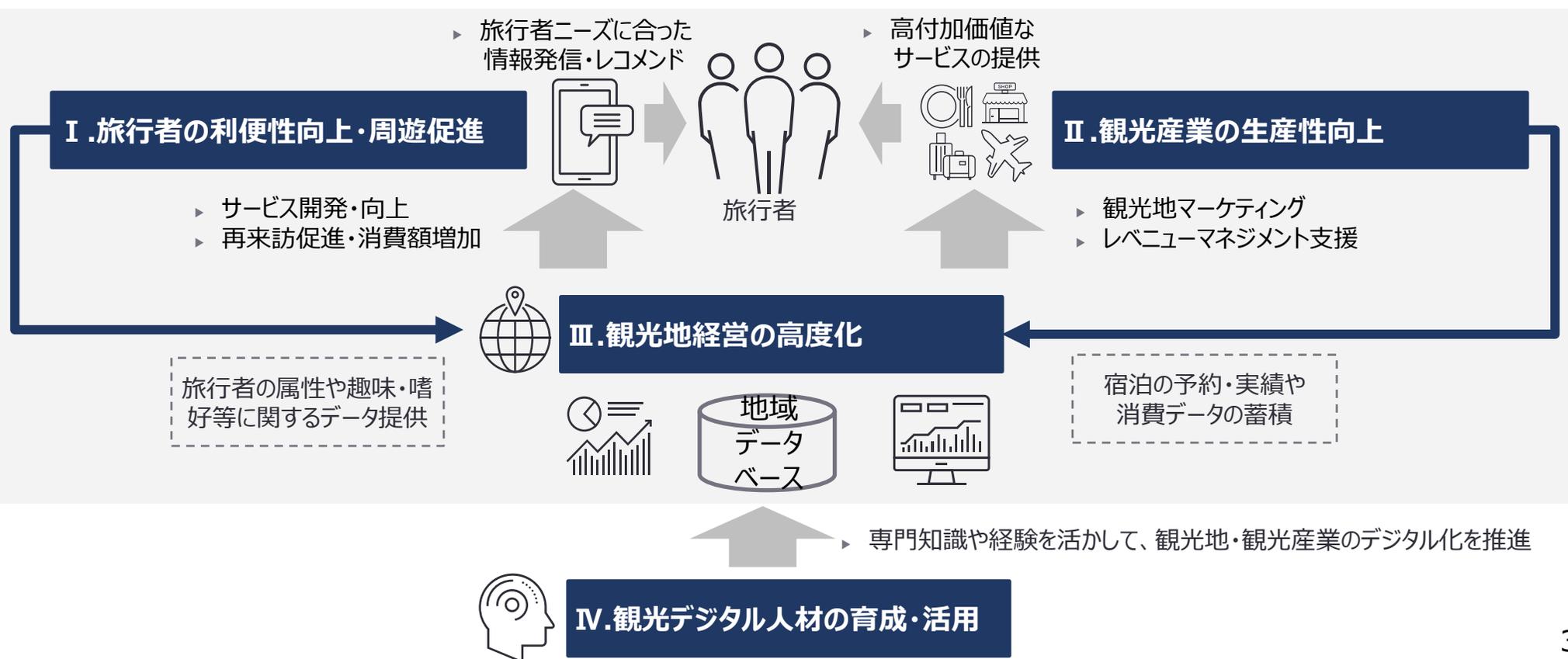
観光体験の充実
訪問増消費増

旅行者

雇用の安定 所得増
担い手の確保

観光分野におけるDX推進の意義

- 人口減少が進む我が国において、国内外との交流を生み出す観光は、地方創生の切り札。
- 観光分野のDXを推進し、旅行者の消費拡大、再来訪促進、観光産業の収益・生産性向上等を図り、稼ぐ地域を創出。
- 事業者間・地域間のデータ連携の強化により広域で収益の最大化を図ることで、地域活性化・持続可能な経済社会を実現。
- 観光地・観光産業においては、連携により効果の最大化を図る領域と、地域の特性や地域内の事業者の状況に合わせて個別に創意工夫する領域とを見極めつつ推進することが重要。

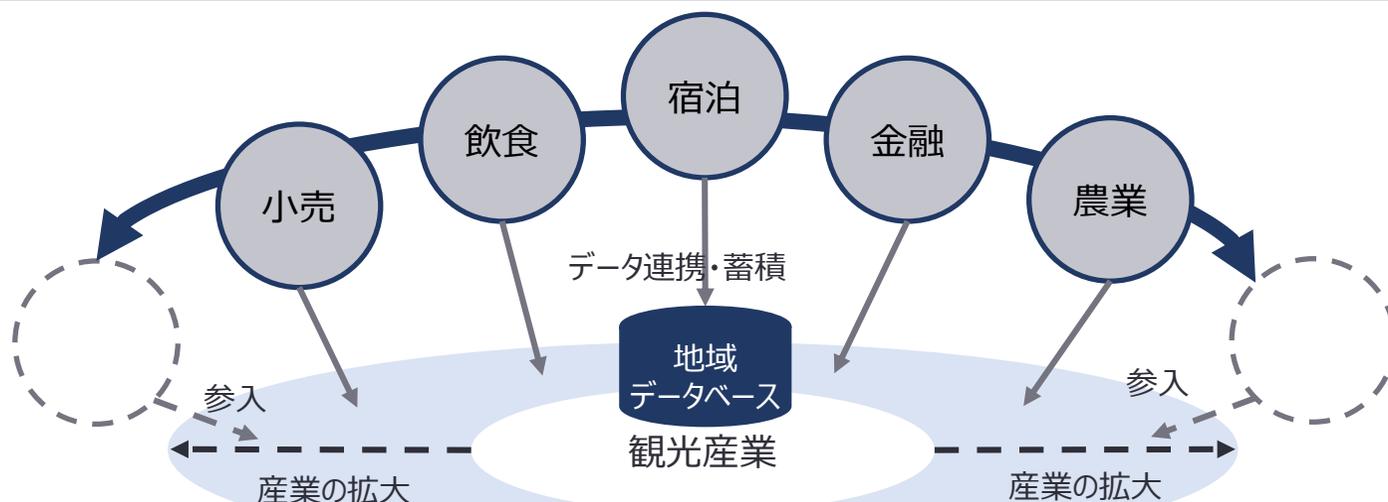


新たな産業の参入に向けた観光地のデータ活用

- 観光DXを契機に、地域に他の産業を含めたデータが集積されることで、地域インフラとしてのデータベースが実現し、事業者間・地域間でのデータ連携、外部からの投資等によるイノベーションにより、地域活性化・持続可能な経済社会を実現することが重要。

- ▶ すそ野の広い観光産業に、新たな産業が参入することで、観光産業を中心とした重要な地域インフラとなる可能性を持つ
- ▶ 観光地が持つデータのオープン化を通じて、産業・企業・スタートアップ等の新規参入を促すイノベーションの中心になる可能性を持つ

観光DXで
推進される
地域のデー
タベース



ユースケース①

地域(DMO等)によるデータ戦略により、
域内事業者の供給増を促進

- ▶ 地域(DMO等)が地域内の宿泊人数を3年後に1.5倍に引き上げを計画
- ▶ それに加え、域内事業者との合意形成により、域内の農産品の調達率を1.3倍引き上げを模索
- ▶ 農業関連事業者も、DMOと一体となり、域内調達率1.3倍の引き上げを見込み、生産能力も1.3~1.5倍に引き上げを調整

ユースケース②

市場規模の把握等により、
異業種や外部からの投資を誘発

- ▶ 地域内の市場の状況が可視化されることから、観光による地域の市場の拡大を把握(例：過去3年で2倍の成長)
- ▶ 地域の取組に賛同し、新たな事業機会を模索した新規参入事業者にとって、市場規模がある程度可視化され、旅行者の流入状況がわかれば、投資しやすい環境に

新たな産業
の参入イ
メージ

事業目的・背景・課題

- コロナ禍を経て国内観光需要が回復しインバウンドが増加する中、DXを通じた観光地の多様なコンテンツの販路拡大による地域一体での消費拡大、観光産業の収益・生産性向上・賃金上昇の実現は、喫緊の課題である。
- 観光地・観光産業が抱える課題の解決に向けて、全国の観光地のコンテンツの販路拡大・観光産業の生産性向上に資するデジタルツールの導入支援や、DX技術を活用した各地域の課題解決モデルの構築等を実施する。

事業内容

- ①観光地のコンテンツの販路拡大・観光産業の生産性向上等に向けた支援
観光地におけるコンテンツの販路拡大・マーケティング強化や観光産業におけるレベニューマネジメント等の収益・生産性向上に資するデジタルツール（生成AI等）導入を支援。
- ②専門人材による伴走支援
DX推進に向けた計画策定時、デジタルツールの導入時、導入後の活用時等の各場面において、持続可能な観光地域づくりに向けたDX専門人材による伴走支援を実施する。
- ③データ活用による観光課題解決と消費拡大モデルの創出
地方誘客、オーバーツーリズム対策、インバウンド消費拡大、防災・減災等が課題とされている観光地・観光産業において、これらの課題をデータ活用により解決し、消費拡大との両立を目指すモデルを創出する。

事業スキーム

事業形態：①②間接補助事業(①上限1,500万円、補助率1/2、②定額(上限800万円))、③調査事業等
補助対象・請負先：①②国→民間事業者(事務局)→DMO等、③民間事業者(コンソーシアム)

担当課室：観光庁 観光産業課

事業イメージ

デジタルツールの導入支援



キャッシュレス
決済

体験・アクティビティ
予約・在庫管理

専門人材による伴走支援



DX活用に向けた計画策定・伴走支援